

1920年代までの米国における暖簾会計

Goodwill Accounting in the U.S.A until 1920s

博士後期課程 商学専攻 2007年度入学

付 丹 丹

FU DANDAN

【論文要旨】

米国における暖簾および無形資産の会計処理について、1920年代までの主要な会計学者の議論を概観しながらその背景と特徴について整理を行う。各会計学者の論説を詳細に追う作業から、大恐慌以前、原価主義が絶対なものとされない時期において、米国における暖簾の会計処理は広範な方法が容認されていたことを明らかにするとともに、米国における暖簾および無形資産の会計理論と実務は合併運動を契機としたトラスト問題の発生とその収束、そして大規模株式会社の出現という一連の米国特有の社会事象と密接に関連していることを明確にすることが本稿の目的である。

本稿での研究は現在の無形資産の会計問題を検討する上での基礎とし、今後、無形資産会計の研究を発展させていくための足がかりとして位置づけている。